

乳腺外科が受診しやすくなりました

当院では、2名の乳腺専門医が診察を行っていますが、乳腺に不安のあるかたが受診しやすくなるよう、乳腺外科に限り、診療受付時間を**午後4時まで**(月・水曜日)に拡大しました。

また、乳腺外科に限り、患者さまご自身で直接、**電話予約**も可能としました。ただし、紹介状がない場合は、診察料のほかに初診料加算金(3,240円)が別途必要となります。

【予約専用電話(平日 8:45~17:00)】 728-2013

【問い合わせ(医療事務室)】 728-2001(病院代表)

担うべき医療を チーム一体となって より安全に

桜のつぼみがほころび始めた4月1日、59名の職員を新規採用しました。内訳は、医師8名、研修医12名、看護師・助産師28名、看護補助2名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、理学療法士2名、診療情報管理士3名、事務職2名です。

当院の理念「担うべき医療を チーム一体となって より安全に」のもと、さらに地域の皆さまの健康に寄り添う医療の推進に努めていきます。



今年も実施します 市民医療講座

当院の各診療科の専門医をはじめとする医療スタッフが、患者さまや市民のみなさまに、診療内容や最新の情報をお伝えすることを目的として、市民医療講座を毎年5~6回程度開催しています。今年の講演内容は以下のとおりです。 ※講演内容は変更することがあります。

- ◆認知症予防から支援まで【7月20日(土)】
- ◆高齢者の循環器疾患について
- ◆胃がん手術とサルコペニア(筋肉減少症)
- ◆脳卒中リハビリ
- ◆糖尿病
- ◆箕面がん医療フォーラム【11月17日(日)】

詳細が決まりましたら、市広報紙や当院のホームページ、院内掲示でお知らせしますので、ご確認ください。

ふるさと寄附金のご案内

当院では、市の「みんなの箕面の緑の寄附金(箕面市ふるさと寄附金)」による寄附金の受付を行っております。これまでも多くのかたからご寄附をいただき、院内設備や医療機器の充実を通じて、有効に活用させていただきました。これからも、地域医療の推進に活用させていただきますのでご協力をお願いします。

- ふるさと寄附金の制度や申込み手続きなどについては、箕面市ホームページをご覧ください。
- お申し込みいただく際、申込書の寄附の内訳欄で「5 箕面市立病院の医療体制の充実・強化」をお選びいただきますと、病院への寄附となります。

※ふるさと寄附金をかたった寄附の強要や詐欺行為などには十分ご注意ください。
※法改正により令和元年6月1日以降、箕面市民の寄附については、返礼品はありません。



■お問い合わせ 病院経営室【728-2001(代表)】

こちらも、ご覧ください!!リアルタイムな情報が満載! 箕面市立病院HP



箕面市
ホームページ



箕面市立病院だより

2019.7 Vol.34

<https://minoh-hp.jp>

編集発行:箕面市立病院 事務局病院経営室 ☎072-728-2001(内線2718)



特集：白内障ってどんな病気？

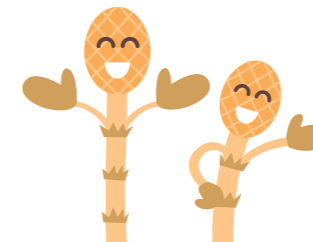
明るくスタート！

新しい時代「令和」と新しい「命」

新しい時代「令和」がスタートして間もない5月3日、当院でも「令和」初の新しい命が誕生しました。新しい時代とともに、お子さんを迎えられたお母さんから「主人が昭和生まれ、私が平成生まれなので、続いて息子は…と思っていたら、なんと令和生まれ!! こんな偶然で嬉しい。また、新元号に込められた“希望に満ちあふれた新しい時代の始まり”が素晴らしく、その元年生まれになって嬉しかったです。それに、“箕面市立病院での令和ベビー第1号だよ”とスタッフの皆さんがお祝いしてくれました。息子にとって最高のお誕生日になりました。私たちにとって令和は特別なスタートとなりました。」とのメッセージをいただきました。新しい時代とともに元気に育てね。



【ひなとくん】



白内障ってどんな病気？

白内障は、ある程度の年齢になると多くのかたがかかる病気ですが、糖尿病や目のけがによっても発症することがあります。

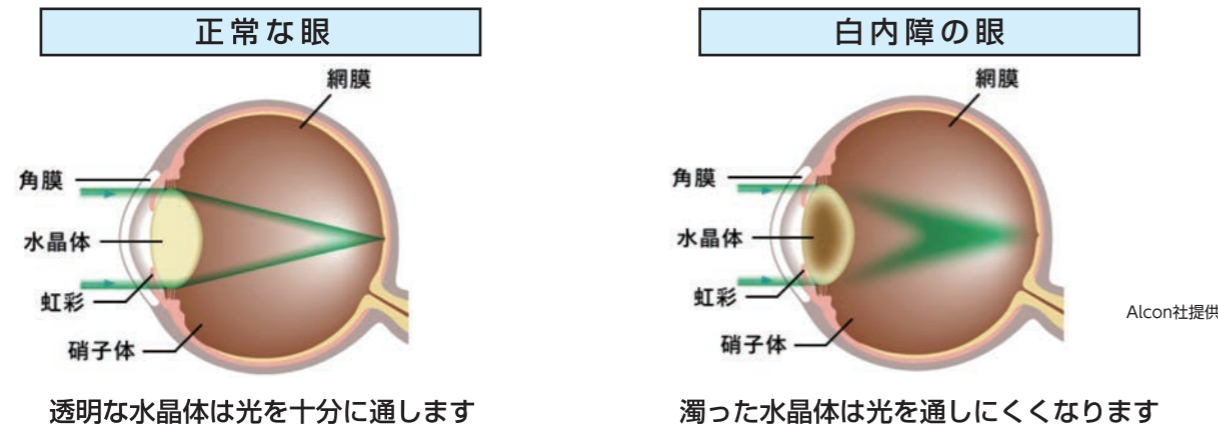
白内障とはどんな病気なのか、治療はどのような方法なのか、当院で実施している手術などをご紹介します。

白内障とは

皆さんもご存知のように、我が国は平均寿命が男性81歳、女性86歳にも達し、近年続けて世界の上位に位置するほどの長寿国となっています。白内障は程度や個人差はありますが、60歳代で5割、70歳代で8割、80歳以上ではほとんど全員がかかる眼病です。

古くは、奈良時代に12年の歳月を経て仏教を伝えるために来日した鑑真は、白内障で失明したといわれています。著名な音楽家バッハやヘンデル、画家のモネ、物理学者のキュリー夫人も白内障の手術を受けたとの記録があります。白内障は老化現象なのでいつの時代も人々を悩ますもっとも身近な病気でした。

白内障は歴史上の人物でも悩まされた人が大勢いま



人間の眼の中にはカメラに例えるとレンズに当たる水晶体という部分があり、透明であった水晶体が濁ってくる病気が白内障です。

ロイドなどの副作用、外傷によって生じるものもあります。

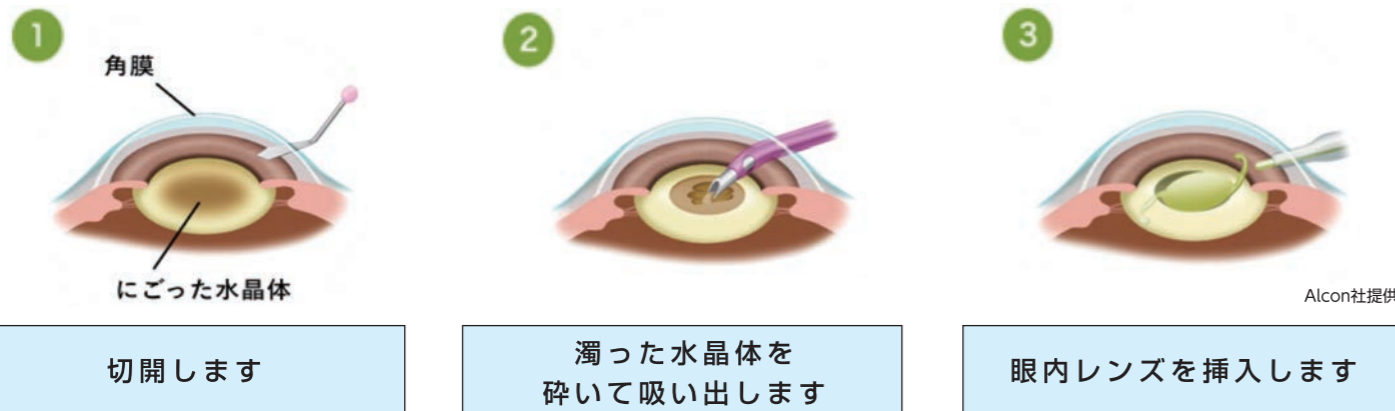
白内障の原因としては加齢によるものが最も多いですが、糖尿病やアトピー性皮膚炎などの全身疾患、ステ

ロイドなどの副作用、外傷によって生じるものもあります。白内障になると、見えにくい、かすむ、ぼやける、まぶしいといった症状がでます。

白内障の手術

白内障の程度が軽度の場合は経過観察します。日常生活に支障がでるほどに進行すれば、手術による治療

を行うのが一般的です。白内障の手術の手順は以下のとおりです。



現在の標準的な術式は、超音波乳化吸引術です。この手術は、局所麻酔をかけて、3mm弱の小さな創口を開けて行います。手術では濁った水晶体の中身を超音波装置で砕いて吸い取り、残した水晶体の袋(水晶体のう)に眼内レンズを挿入します。手術中は顕微鏡の光がまぶしく感じますが、痛みはありません。手術時間は15分程度と短時間で体に負担の少ない手術ですので、日帰り手術も可能です。

なお、進行しすぎた白内障や、外傷や他の眼の病気を伴う白内障は超音波乳化吸引術が難しく、他の方法が選択される場合もあります。

取り除いた水晶体の代わりに入れる眼内レンズは、ピントを合わせる働きをします。眼内レンズについてはさまざまなタイプがありますが、一般的には生体適合性の良い軟らかいアクリル素材の単焦点レンズとなります。一度挿入すれば、半永久的に使用でき拒絶反応もありませんが、術後はピントの調節機能がなくなる

ため、選んだピント以外の距離のものを見るためには眼鏡が必要です。

つまり、遠くにピントを合わせれば近くは老眼鏡(近用眼鏡)、近くに合わせれば遠くは遠用眼鏡が必要となります。日常生活様式や希望する見え方をお聞きして眼内レンズは選択します。

なお、多焦点タイプの眼内レンズも2000年代に入って登場しましたが、保険適応外で自費となるため、取り扱う施設は限られています(当院では取り扱っておりません)。

最近の白内障手術は、大多数の患者さまにとって視力を回復することのできる、比較的安全な手術となりました。しかしながら、手術症例数が十分に豊富な専門医がベストを尽くしても、予測できない合併症により重篤な視力障害が残ることも稀ながらあります。手術の時期や眼内レンズの選択など眼科医とよく相談して決めることが大切です。

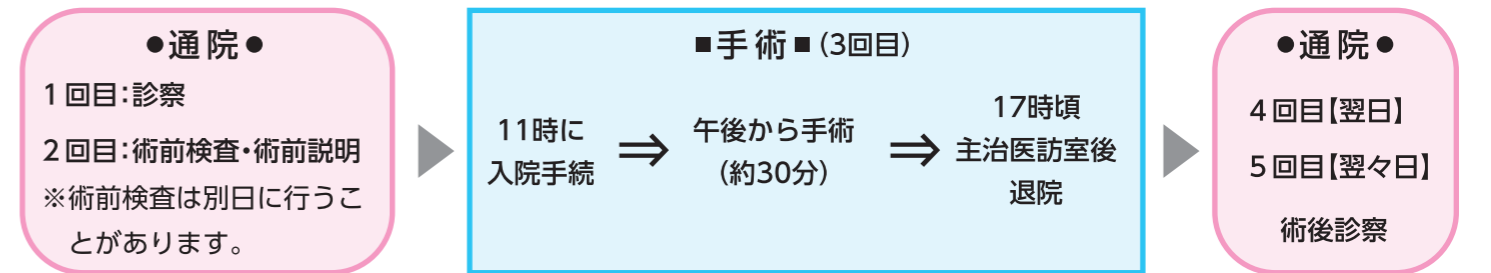
当院での手術について

当院での白内障手術の期間

当院では、1回につき片目のみの手術となります。両目の手術が必要な場合は、2週間程度以降の別の日に、もう片方を実施します。入院期間は、医師の診断と患者

さまの希望を勘案しながら、日帰り・1泊・2泊入院から選択していただきます。

当院での白内障手術の流れ【日帰り手術の場合】



当院での白内障手術の費用【日帰り手術の場合】

	1割負担	3割負担
片目	約18,000円	約55,000円
両目	約36,000円	約110,000円

※健康保険を利用して手術を行った場合の手術・入院費用を試算したものの(食事代含む)です。なお、両目の手術をされる際、手術月が違う場合は費用が変わることがあります。
※ご加入の健康保険の種類や所得により異なる場合がありますので、詳しくは医療事務室にお問い合わせください。

当院での白内障手術の際のご注意

手術の際は全身状態が落ち着いていなければ手術は行えないため、病状に不安のあるかたや術前検査で異常が見つかったかたは、内科医と相談して、手術に支障がないか確認します。

また、認知症や精神疾患などがあり、全身麻酔が望ましい場合は他院に紹介しています。

当院眼科において、白内障手術はもっとも力を入れている治療のひとつです。

「最近、見えにくい」「物がかすんで見える」というかたは、できるだけお近くの眼科医院でご相談いただき、紹介状をお持ちの上、当院にお越しください。